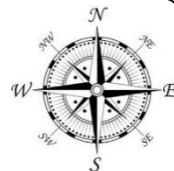


羅 針 盤



太秦中学校
進路指導部
12月22日
No.63

冬休み中にやっておくこと①

① 生徒手帳があるか確認

入試当日、受験（受検）票を家に忘れてきてしまった場合、生徒手帳と受験（受検）番号の記録があれば受験（受検）することができます。もしも生徒手帳がなく、受験（受検）番号の記録もない場合、入試会場に入るまでに、本人の確認などいろいろと手続きがあり時間がかかります。

また、公立高校の合格発表の後、自分の得点を「開示請求」することができます。その時に必要なものが受験票と「生徒手帳」です。このときの「生徒手帳」はみなさんを証明するものとしての役割を果たしてくれます。大切な生徒手帳は手元にありますか？ない人は再発行の手続きをしてください。担任の先生に頼めば再発行してもらえます。

② 受験校への交通手段の確認

受験当日には、「友達と行くので大丈夫。」「おうちの人に送ってもらうから。」という人がいると思いますが、受験はひとりで行けるようにしておきましょう。当日何が起こるかわかりません。約束していた友達が入試当日来なかった場合、自分一人で行かなければなりません。入試当日、大雪が降り、道が渋滞して、車がその渋滞にはまり入試会場にたどり着けない。そんなことがあるかもしれません。そんなとき公共交通機関を利用した遅れの場合は「遅延届」というものを発行してもらい、それを提出することにより入試時間を遅らせて受験させてもらうことができます。しかし、個人の車による遅れや、タクシーなどによる遅れの場合は、「遅延届」というものが発行できず、入試会場に入れない、そして受験できないということが起こってしまいます。学校によりますが、15分以上の遅刻は、受験できなくなります。必ず公共交通機関の確認をお願いします。スマートフォンや携帯電話は持ち込みが禁止されている学校がほとんどです。そのようなものがなくても一人で行くことができるようにしておいてください。

③ 過去問を解く

私立高校の場合は、「入試説明会」などに参加したときに、過去問題をもらってきている人もいます。また、「赤本」といういろいろな私立高校ごとに過去5年分の問題を集めた冊子が書店などで売られています。そのような、「問題」を実際にといてみるのが、学習の近道になると思います。解きながら、分からないところを調べて解決していくことにより、内容が頭に入っていくと思います。もしも解いていてわからなかったら、各教科の先生に聞いてみるのもいいでしょう。私立高校の場合は、学校ごとに、問題の傾向（問題の出題のしかた、問題の難易度）がほとんど毎年同じなので、その高校の問題になれておくことが、大切です。ぜひ、どんどん問題にチャレンジしていきましょう。公立高校の場合は、書店でも買えますが、京都府の教育委員会のホームページに掲載されています。プリントアウトしてチャレンジしてください。

